

号外はインターネットの福島民報ホームページ (<https://www.minpo.jp/>) でもご覧になれます。

羽生、第一線退く意向



羽生結弦

フィギュア

競技会出場せず

今夕会見で「決意表明」

フィギュアスケート男子で進退を明言していなかった羽生結弦(三セ)はANA(第一線を退く意向であることが19日、分かった。2月の北

京冬季五輪で3連覇を逃して4位に終わり、去就について「少し考えたい」「(競技会かアイスショーか)フィールドを問わない」と話してい

たが、今後は競技会に出場しないことを決意したという。同日午後5時から「決意表明の場として」東京都内で記者会見

仙台市出身の羽生は2011年の東日本大震災を乗り越え、14年ソチ、18年平昌両五輪を2連覇。冬季五輪の金メダリストで初めて国民栄誉賞を受賞した。20年に四大陸選手権で初優勝し、男子で初めてジュニア、シニア

で五輪、世界選手権などの主要国際大会を全て制覇する快挙を成し遂げた。北京五輪のフリーでは前人未到のクワッドアックス(4回転半ジャンプ)に挑戦して転倒。3月の世界選手権は右足首捻挫で欠場していた。

羽生結弦選手の歩み

- 1994年・宮城県仙台市で生まれる
- 99年・4歳でスケートを始める
- 2010年・世界ジュニア選手権で初優勝
- 11年・仙台市で練習中に東日本大震災で被災
- 12年・カナダのトロントに練習拠点を移す
- 13年・グランプリ(GP)ファイナルで初優勝
- 14年・19歳でソチ冬季五輪金メダル
・世界選手権で初優勝
- 16年・世界初の4回転ループ成功
- 17年・世界選手権で2度目の優勝
- 18年・23歳で平昌五輪金メダル。男子で66年ぶりの2連覇
・国民栄誉賞受賞
- 20年・四大陸選手権で初優勝。男子初の主要国際大会全制覇
- 22年・27歳で北京五輪4位。クワッドアックス(4回転半ジャンプ)挑戦が認定される。主要国際大会で初めて